

会社説明会

～平成27年3月期 第2四半期～

Yamagata

Miyagi



1. 平成27年3月期第2四半期決算の状況

①じもとホールディングスの業績について	…	1
②きらやか銀行の業績について	…	2
③仙台銀行の業績について	…	3

2. 両行の取組みについて

①仙台銀行の取組みについて		
～アクティブリスニングによる本業支援～	…	4
～震災復興支援に向けた本業支援～	…	5
②きらやか銀行の取組みについて		
～企業のライフサイクルに合わせた本業支援～	…	6
～きらやかさんプロジェクトについて～	…	7

3. じもとホールディングスの取組みについて

①「本業支援戦略部」の新設	…	8
②じもとホールディングスのトピックス	…	9
③じもとグループの内部管理態勢について	…	11



1. 平成27年3月期第2四半期 決算の状況

①じもとホールディングスの業績について

1 損益の状況

	25年9月期	26年9月期	前年同期比
連結経常収益	211億30百万円	212億42百万円	+1億12百万円
連結経常利益	31億97百万円	34億41百万円	+2億43百万円
連結中間純利益	31億53百万円	34億50百万円	+2億96百万円

- 連結経常収益は、前年同期比増加
- 連結経常利益、中間純利益は、前年同期比増加

【2行合算】	25年9月期	26年9月期	前年同期比
コア業務純益	33億78百万円	36億26百万円	+2億47百万円
経常利益	34億22百万円	30億89百万円	△3億33百万円
中間純利益	32億51百万円	31億18百万円	△1億33百万円

- コア業務純益は、資金利益が減少したものの、物件費が減少したことなどにより前年同期比増加
- 経常利益・中間純利益は、与信関係費用の増加により、前年同期比減少

2 業績予想及び配当方針

	平成27年3月期	(参考) 平成26年3月期 実績
連結経常利益	50億円	61億14百万円
連結当期純利益	50億円	46億61百万円

- じもとホールディングス連結の平成27年3月期の業績予想は、経常利益が50億円、当期純利益が50億円を見込んでおります。

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考) 平成26年3月期	2円00銭	2円00銭	4円00銭

- 配当方針につきましては、平成27年3月期中間配当を1株あたり2円50銭とさせていただきます。
- 期末配当につきましても1株あたり2円50銭、年間で5円を予定しております。

②きらやか銀行の業績について

1 損益の状況

	24年9月期	25年9月期	26年9月期	前年同期比
経常収益	129億13百万円	121億77百万円	121億96百万円	+19百万円
コア業務純益	25億14百万円	24億72百万円	22億95百万円	△1億76百万円
経常利益	7億43百万円	14億79百万円	11億63百万円	△3億15百万円
中間純利益	7億65百万円	13億66百万円	9億59百万円	△4億7百万円

- コア業務純益は、資金利益の減少により、前年同期比減少
- 経常利益・中間純利益は、与信関係費用やシステム費用の増加により、前年同期比減少

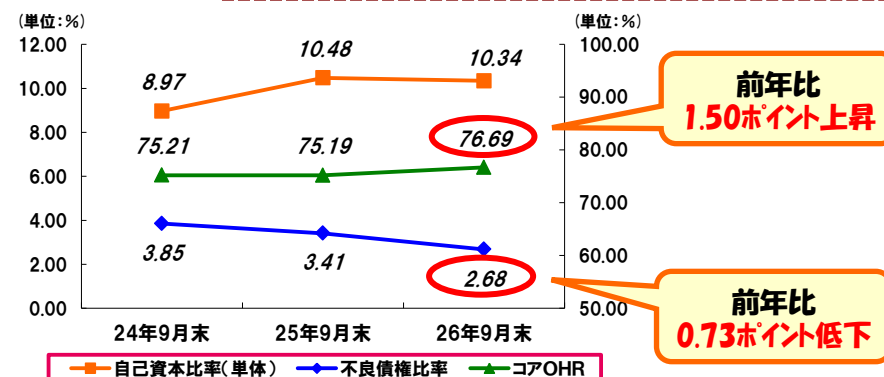
3 貸出金の状況



- 中小企業向け貸出は証書貸付を中心に前年比68億80百万円増加
- 消費者ローンは住宅ローンを中心に前年比32億58百万円増加

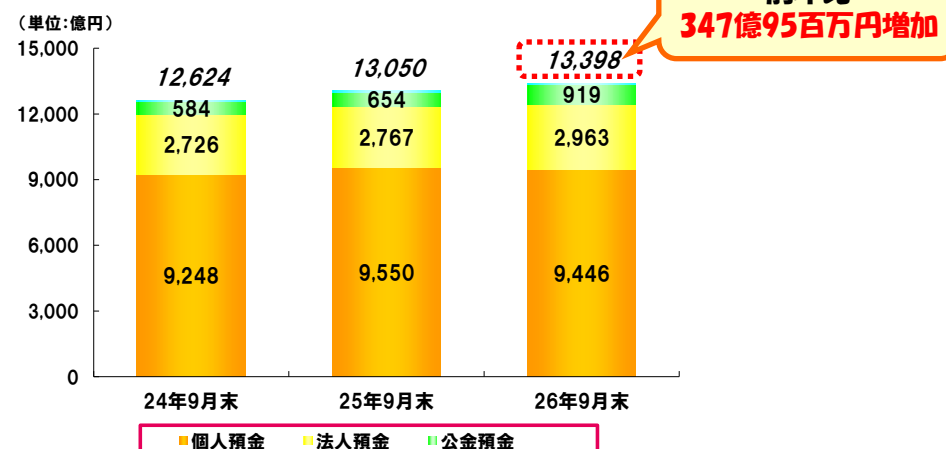
2 主な経営指標

※ 平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制(バーゼルⅢ)が国内基準行に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なっております。



- 不良債権比率は、組織的かつ積極的な経営改善支援の実施により改善
- コアOHRは、コア業務粗利益の減少により上昇

4 預金の状況



- 個人預金は個人定期預金の減少などにより前年比103億87百万円減少
- 法人預金は流動性・定期性預金ともに増加し前年比195億78百万円増加
- 公金預金は前年比265億7百万円増加

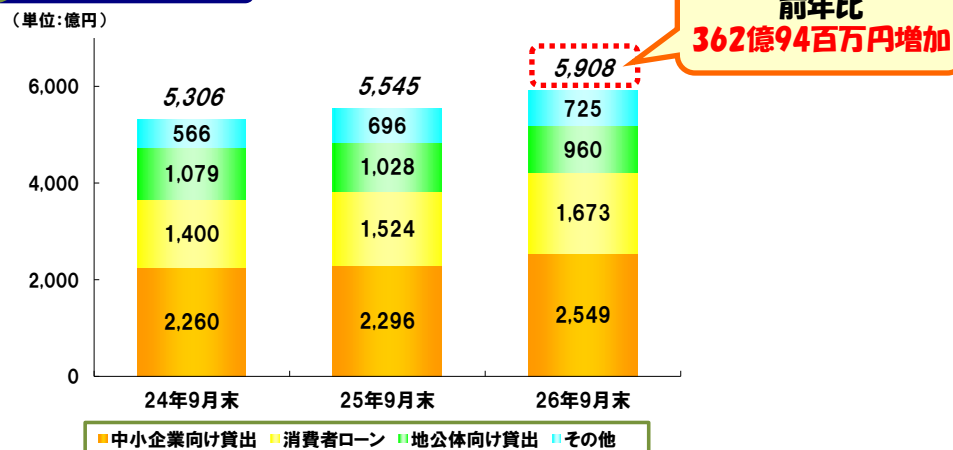
③ 仙台銀行の業績について

1 損益の状況

	24年9月期	25年9月期	26年9月期	前年同期比
経常収益	92億7百万円	88億95百万円	85億76百万円	△3億19百万円
コア業務純益	8億15百万円	9億6百万円	13億30百万円	+4億24百万円
経常利益	19億96百万円	19億43百万円	19億25百万円	△17百万円
中間純利益	19億34百万円	18億84百万円	21億59百万円	+2億74百万円

- コア業務純益は、資金利益増加や物件費減少により、前年同期比増加
- 経常利益は、貸倒引当金戻入益が減少したものの前年同期比維持、中間純利益は前年同期比増加

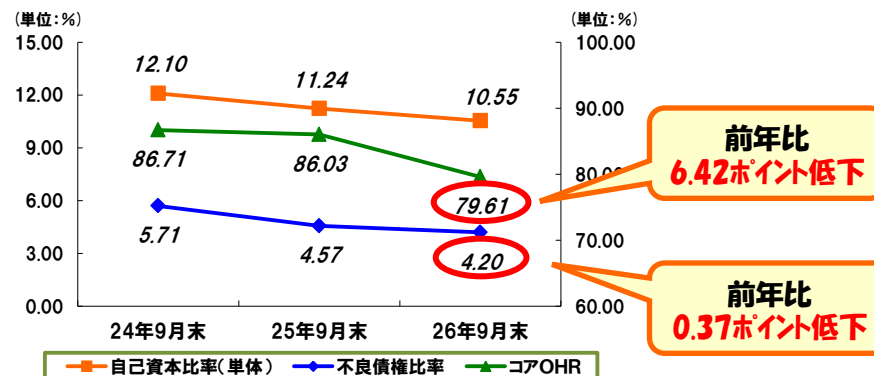
3 貸出金の状況



- 中小企業向け貸出は、前年比252億82百万円増加
- 消費者ローンは、住宅ローンを中心に前年比148億66百万円増加

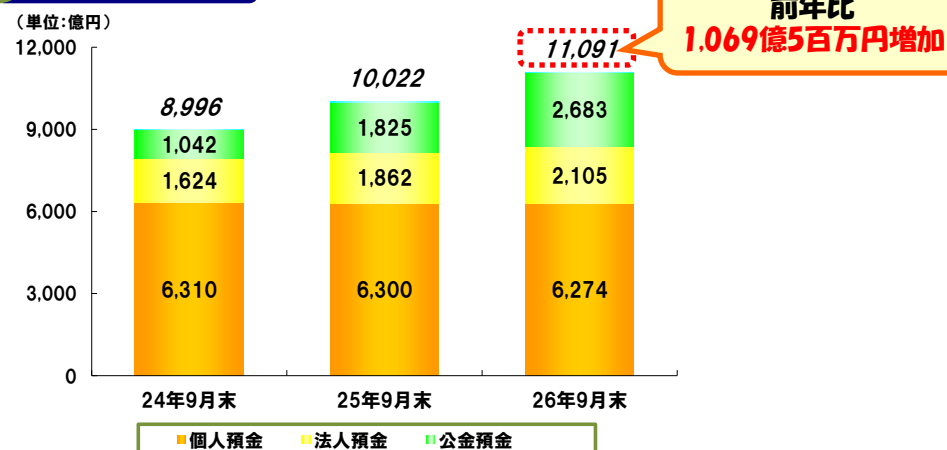
2 主な経営指標

※ 平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制(バーゼルⅢ)が国内基準行に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なります。



- 不良債権比率は、取引先の業況好転によるランクアップなどにより改善
- コアOHRは、経費減少やコア業務粗利益の増加により改善

4 預金の状況



- 個人預金は前年比26億44百万円減少
- 法人預金は企業の手元資金が増加し、前年比242億91百万円増加
- 公金預金は前年比857億85百万円増加

2. 両行の取組みについて

① 仙台銀行の取組みについて ～アクティブリスニングによる本業支援～

仙台銀行では、東日本大震災からの復興支援をさらに進めるため、「**本業支援**」の体制を強化しています。

本業支援の体制強化

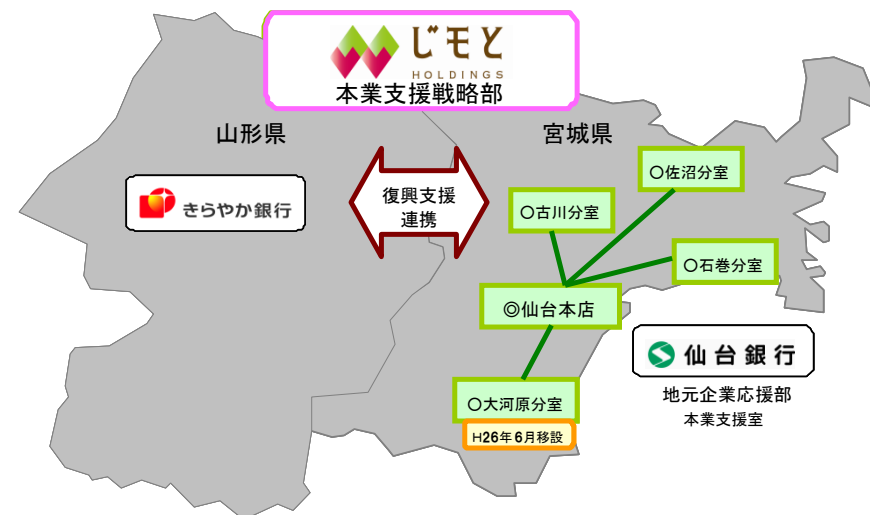
① 組織の整備

- 県内に地元企業応援部の拠点5ヵ所を設置。
- 地元企業応援部に「**本業支援室**」を新設。(平成25年10月)
- 行内向け**情報管理システム**の導入
⇒社内イントラを活用し情報管理を一元化
- 経済産業省「よろず支援拠点」との相談体制を整備
⇒「無料」かつ「長期」で中小企業の支援施策を共同で提供。
- 企業ニーズに応えるため**業務提携先**をさらに追加。
⇒人材派遣、M&Aに関する提携先を追加
- じもとホールディングスに「**本業支援戦略部**」を新設。(平成26年10月)

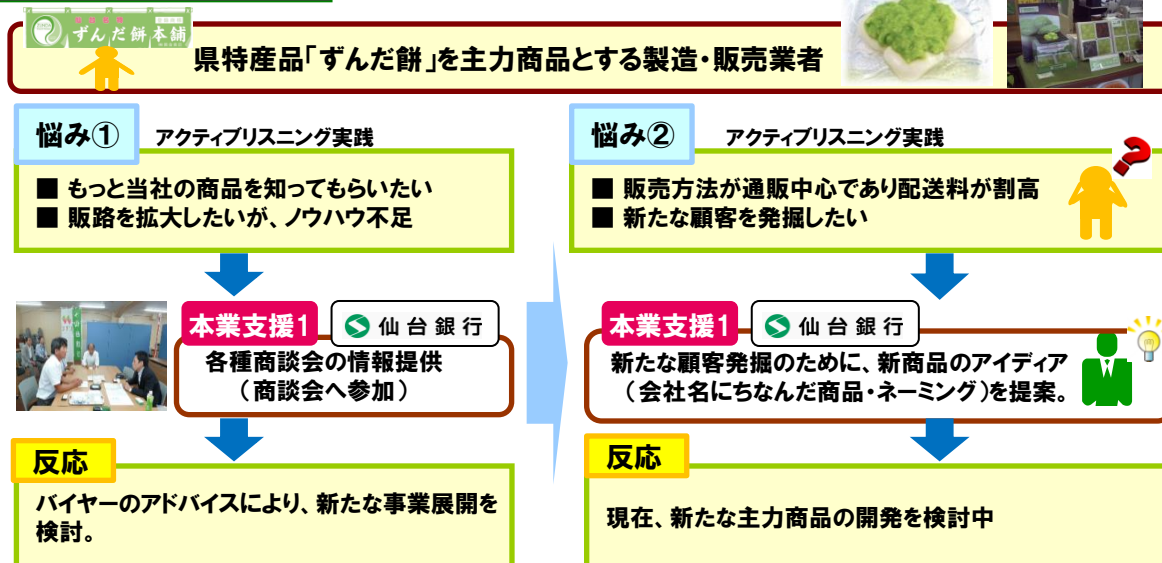
② 人材の育成

- 本業支援研修「コミュニケーション力向上研修」を実施。
- CRC(企業再建・承継コンサルタント共同組合)による本業支援研修を実施。

お客さまの「**本業支援**」につながる情報提供・提案の取組みをさらに強化



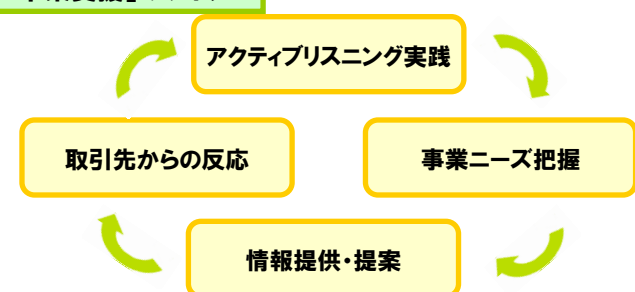
本業支援の具体的な事例



Key Point

- ① 継続的なアクティブリスニングの実践による、**事業ニーズの把握**
- ② 新商品開発に向けた「**情報提供・提案**」による**本業支援の実施**

「本業支援」のサイクル



① 仙台銀行の取組みについて ～震災復興に向けた本業支援～

復興支援の実績

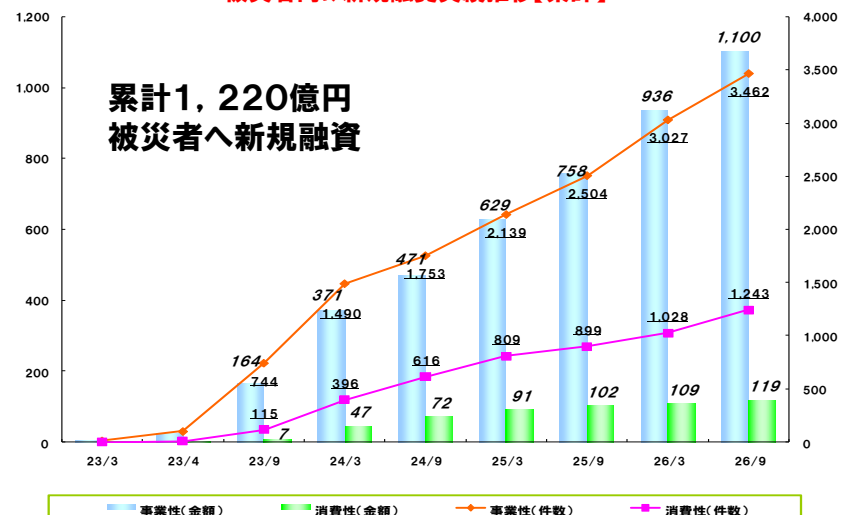
	平成26年度上期		実績累計	
	件数	金額	件数	金額
被災者向け新規融資実行	650件	174億円	4,705件	1,220億円
うち事業性資金	435件	163億円	3,462件	1,100億円
うち消費性資金(住宅ローン)	34件	7億円	482件	106億円
うち消費性資金(消費者ローン)	181件	3億円	761件	13億円
第一次産業向け融資(農業・水産業)実行	24件	9億円	111件	35億円
宮城産業復興機構の活用	5件		25件	
東日本大震災事業者再生支援機構の活用	5件		45件	

(単位:億円)

被災者向け新規融資実績推移【累計】

(単位:件)

累計1,220億円
被災者へ新規融資



復興支援の具体的取組み

【石巻・雄勝地区】
銀鮭・ホタテ養殖業者

震災の津波による甚大な被害

想い

- ・震災前よりも一歩も二歩も進んだ漁業に取り組みたい。
- ・雄勝地区を復興させるには漁業しかない。

事業者の「想い」を具現化する
本業支援の実施

アクティブリスニング

提案
支援

復興プロジェクト

仙台銀行による経営支援

事業計画策定・商品開発を総合的に支援

仙台銀行



【水産経営アドバイザー】

宮城県6次産業化
サポートセンター



【経営士】

Key Point

- ①事業者の考える「想い」を具現化する
本業支援の実施
- ②外部連携を強化し復興支援を加速
- ③新たな雇用創出と地域の活性化



- 被災養殖業者が株式会社を設立
- HACCP(※1)対応の新加工場建設
(※1)食品の製造・加工工程の重要管理点を連続的に監視し、製品の安全を確保する衛生管理の手法
- 鮭・ホタテ等の生産に加え、加工・流通までの6次産業化を目指す。
- 石巻・雄勝地区から雇用創出
(平成26年11月末時点で5名採用)



【株式会社設立】



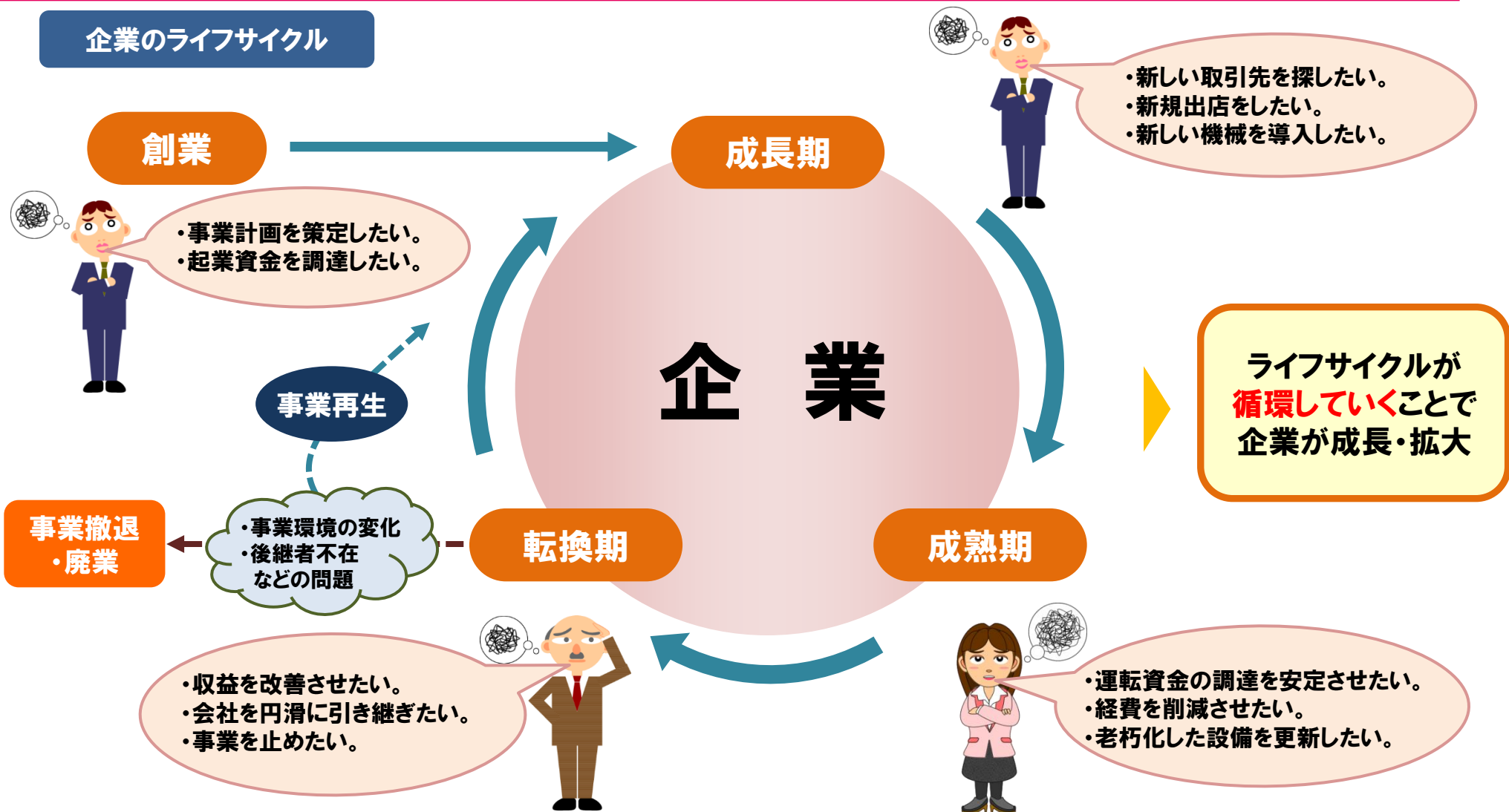
【新加工場建設】



【6次産業化へ】

雇用創出
・
地域の活性化

企業のライフサイクル



ライフサイクルの段階ごとに、様々な悩みや課題が発生

②きらやかさんプロジェクトについて

ご来店ありがとうございました。

本日は **高橋 光子** が

担当させていただきました。

またのご来店を心よりお待ちしております。

また、かわいい

お孫子さんと来店されるのを

楽しみにしています♡♡

きらやか銀行

電話:

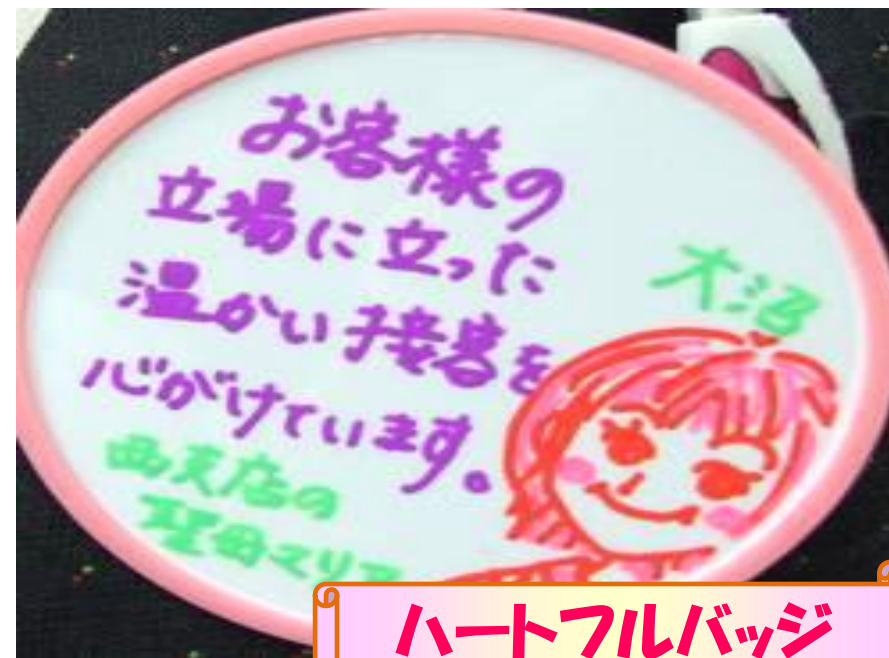


じもと・じまんキャンペーン



2周年の感謝を込めて・・・
じもと・じまんキャンペーン実施中!

山形と宮城の「美味しい!」を味わうチャンス!
詳しくは窓口へお問い合わせください。



ハートフルカード

ハートフルバッジ



アイデアあふれる窓口

3. じもとホールディングスの取組みについて

じもとグループの「本業支援」をNo.1、かつ、Only1へ

H26.5 「宮城と山形をつなぐキャンペーン」実施

- ①『販売先・仕入先はありますか』
- ②『新たな販売先・仕入先をお探してはいいですか』
- ③『何か興味や関心があるものや
お手伝いができるものはないですか』

結果

販売先・仕入先があるお客様は両県とも50%

新たに販売先・仕入先を探しているお客様は両県とも80%超

お互いのお客様に、多くの事業ニーズ

ビジネスマッチングの実績

(単位:件)

	25年度	26年度 上期	累計
成約件数	30	14	44
顧客間交渉件数	83	128	211
紹介実績	113	142	255

平成26年10月1日 本業支援戦略部新設

じもと HOLDINGS

本業支援戦略部

《23人》

本業支援

きらやか銀行

仙台銀行

事業ニーズや経営課題

お客さま

3つの役割

企画担当

本業支援に係るグループ
戦略の企画 など

情報トレーダー

子銀行の情報調整
事業ニーズの仕分け など

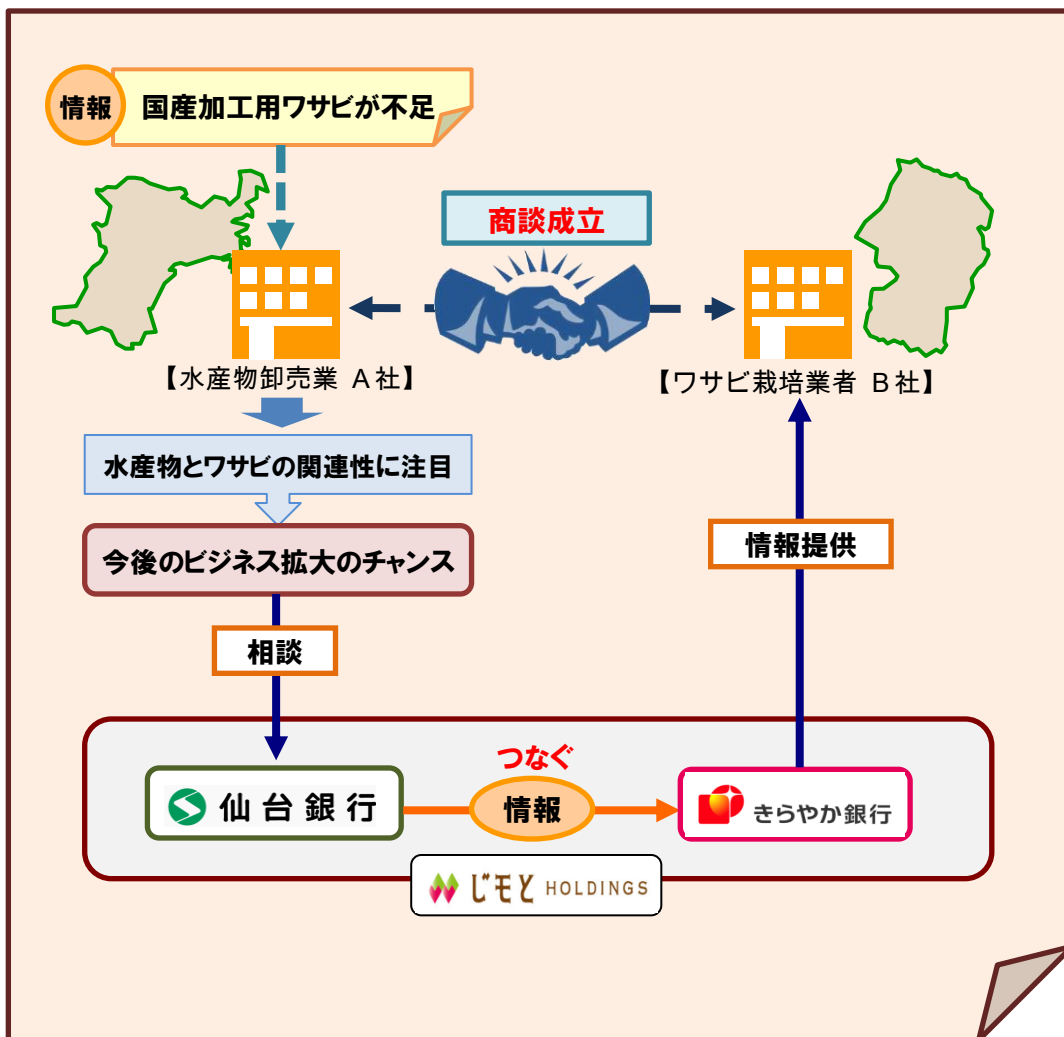
事業コーディネーター

専門家の活用
外部機関との連携 など

これまで以上にスピーディーかつ高度な本業支援へ

②じもとホールディングスのトピックスについて

本業支援具体的事例



最大の特徴

業者情報の紹介依頼を受けてから、

- ◆ **翌日**には、取引先の業者を紹介
- ◆ **1ヶ月後**には、商談が成立

他行にはない**圧倒的なスピード対応**

じもとグループにしかできない本業支援

- 両行が保有する**広域かつ豊富な情報量**
- 両行が連携することでの**スピーディーな対応**

本業支援戦略部の新設により、
よりスピーディー、かつ、**更に高度化した**
本業支援が可能となる。

②じもとホールディングスのトピックスについて

新たな商流の形成

(株)じもとホールディングスでは、「宮城と山形をつなぐ」ことで、新たな商流を形成し、地域経済の発展に貢献してまいります。

10月26日、山形市の「七日町ほっとなる広場」において、「みやぎ復興感謝祭・海の市・in山形」を開催いたしました。

今回で3回目となる海の市には、宮城県の水産加工業者に加え山形県の業者も参加し、各店自慢の商品を販売いたしました。

当日は2,000名以上の買い物客が訪れ、大盛況のうちに終了いたしました。



また11月21日には、きらやか銀行本店において、今年で3回目となる「『食』の商談会」を開催いたしました。

「食」をテーマとしたこの商談会は、両行の取引先34社が参加し、こちらも大盛況のうちに終了いたしました。

お客さま同士の交流

(株)じもとホールディングスでは、お客さま同士の交流についても、継続して取り組んでおります。

平成26年7月、きらやか銀行中央営業部のお客さまが、塩釜市の商工会議所を訪問し、復興状況についてお話をいただきました。

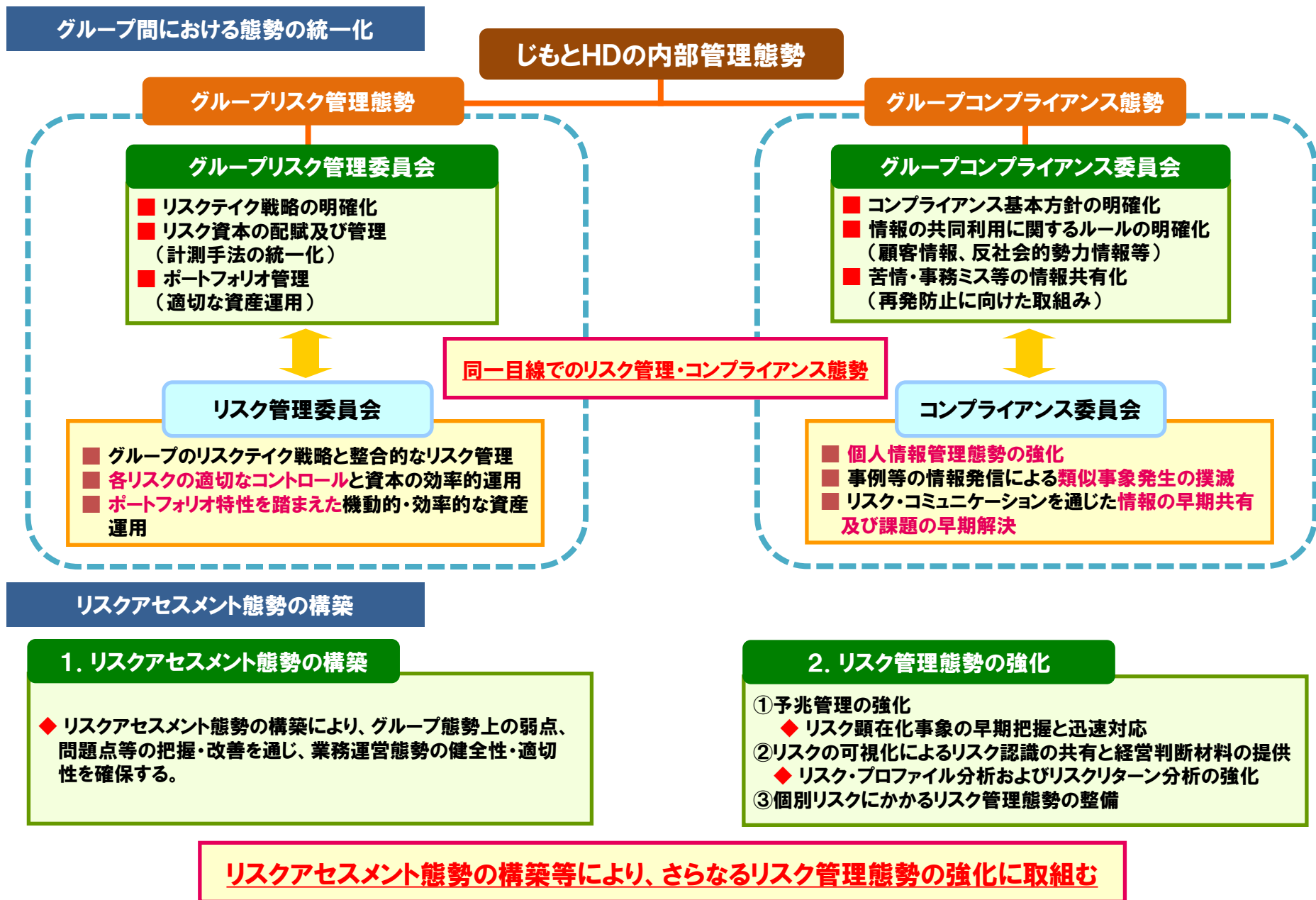
その後、施設見学や講演会、また仙台銀行本店千成会との懇親会を通し、お客さま同士の交流を深めました。



平成26年10月には、きらやか銀行谷地支店のお客さまが、仙台銀行のお客さまとの交流を深めるべく、施設見学や懇親会を行っております。



③じもとグループの内部管理態勢



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総 合 企 画 部

TEL:022-722-0011(代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp>